

指導力評価に関するポートフォリオの様式について (案)

1. 日本語教育プログラム実践の記録

(様式)

1. 記入者名	2. 役割
	<input type="checkbox"/> 地域日本語教育指導者 <input type="checkbox"/> 地域日本語教育コーディネーター
3. 日本語教室の名称	
4. 日本語教育プログラム実施に当たっての学習者の状況・課題等 (※記録: 年 月 日)	
5. 日本語教育プログラムの目標 (※記録: 年 月 日)	
6. 日本語教育プログラム実施の経過 (※記録: ① 年 月 日, ② 年 月 日)	
7. 日本語教育プログラム実施の成果 (※記録: 年 月 日)	
8. 今後に向けて (新たな課題等) (※記録: 年 月 日)	

(記載例)

1. 記入者名	2. 役割
〇〇〇 △△	<input type="checkbox"/> 地域日本語教育指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 地域日本語教育コーディネーター
3. 日本語教室の名称	
××日本語教室	
4. 日本語教育プログラム実施に当たっての学習者の状況・課題等 (※記録：2012年4月1日)	
・これまで平日にしか日本語教室がなく、働いている人が日本語を学ぶ場がなかった。	
5. 日本語教育プログラムの目標 (※記録：2012年4月1日)	
・平日働いている人を対象に生活に必要な日本語を身に付けられるようにする。	
6. 日本語教育プログラム実施の経過 (※記録：①2012年6月1日, ②2012年8月1日)	
① 教材例集を参考に教室活動を行っている。 ② 最初は学習者が多く集まり、毎週来る人が多かったが、毎回来られない人が出てきており、進度に差が出てきている。	
7. 日本語教育プログラム実施の成果 (※記録：2012年9月1日)	
・ 毎回、来ている人は日本語が上達し、教室活動で取り上げた内容は大体できるようになった。アンケートでも満足度が高かった。 ・ 毎回、来られない人については、なかなか日本語のレベルが上がっていないように感じる。	
8. 今後に向けて(新たな課題等) (※記録：2012年10月1日)	
・ 何ができるようになりたいかということだけでなく、何ができるようになったかということも把握しながら、教室活動を進めたい。 ・ 教室に毎回来られない人でも参加しやすいように、1回完結型のプログラムを作り、少しでもできるようになることを増やす。	

2. 研修受講の記録

(様式)

1.		
研修名		
日時 (期間)	場所	主催
内容		
学んだこと		
その他 (感想等)		

(記載例)

1.		
研修名		
地域日本語教育ボランティアセミナー		
日時 (期間)	場所	主催
2012年11月19日	〇市△センター	〇市国際交流協会
内容		
・ 指導者の心構えについて ・ 地域の日本語教室における教材の活用方法 ・ 生活者としての外国人に対する日本語教育で必要なもの		
学んだこと		
・ 生活に密着した形で教室活動を実施することが大事 ・ チラシでも地域の回覧板でもいろいろなものが教材になること		
その他 (感想等)		
・ 心構えについては少し抽象的な話だったので、分かりにくかった。		

